



聡紀、初騎乗初勝利の瞬間 (写真:千葉県競馬組合・柳原プロダクション)

## 勝負服を覚えて 応援に来てください



【山本政聡Ⓔ】昭和60年6月28日生まれ 27歳 平成15年4月19日デビュー 同年6月2日初勝利 通算成績4686戦393勝 大和静治厩舎所属(盛岡)

【山本聡哉Ⓔ】昭和63年1月30日生まれ 24歳 平成17年4月16日デビュー 同年5月14日初勝利 通算成績4386戦418勝 佐藤浩一厩舎所属(水沢)

※今シーズンこれからの岩手競馬は1月2~3日、5~6日、12~14日、いずれも水沢競馬場で開催。その後は3月下旬から。詳しくは岩手競馬ホームページで。



【山本聡紀】平成4年1月30日生まれ 20歳 2012年4月30日デビュー戦で初勝利 通算成績163戦15勝 佐藤賢二厩舎所属(船橋)

かなか馬に乗るチャンスさえなくて、本当に苦しかった。ちよろど岩手競馬も存廃問題で揺れていて、そのレースが最後だなど覚悟を決めて出たんです。そしたら存続が県議会です。自分も優勝、運命的だと思いました。

力のうちと言いますよね。一番大切にしているのは人とのつきあい。毎朝3時に始まる馬の調教のときから、厩舎の皆さんへのあいさつなどコミュニケーションを大切にしています。そして騎乗のチャンスを得ただけなら、上手に馬に乗るといふことの積み重ねだと思っています。

した。そのとき、僕がお世話になっていた先生(調教師)に、弟を世話して欲しいとお願いました。今、夢や目標は一戦一戦積み重ねる成績を上げて、全国の人に山本3兄弟を知ってもらいたいんです。聡哉 兄弟みんな活躍できたら本当にいいですね。兄と同じレースに出ることも多いですし、2人で1着、2着も珍しくなくなりました。個人的には、早く重賞で勝ちたい。そして、将来はリーディングジョッキーになりたい。

スピード感ある迫力のレースも見に来てください。聡哉 僕たちの応援にぜひ来ててください。葛巻の人だとわかったら絶対手を振ります、すぐくパワーが出て、頑張れると思います。

ことで悩んでいたときも、兄たちがつないでくれました。自分とはとてもマイペース。あまり怒られても、気になりません。やっぱり少しは負けず嫌いな。でも常に冷静なレースを心掛けています。今朝2時から馬の調教があり、今は毎日の生活をこなすので精一杯です。ケガをせずに、しっかり馬に乗りたくて思っています。兄弟3人が騎手ということである話題に取り上げていただいているので、僕ももっと頑張りたいと思います。



レースで競り合う政聡Ⓔと聡哉Ⓔ (写真:横川典視)

辰鼻出身の競馬騎手・山本三兄弟、長男・政聡、次男・聡哉、3男・聡紀が地方競馬を熱くしている。岩手競馬の今シーズンの勝利数リーディングでも聡哉2位、政聡5位。聡紀も24年4月、船橋競馬で初騎乗初勝利を達成し、15勝をマーク(12/26現在)。その三兄弟がインタビューで意気込みを語ってくれました。(敬称略)

# smile

現役では日本唯一の三兄弟騎手

## 山本三兄弟が 地方競馬を熱くする



Masatoshi

葛巻のために何か恩返ししたい。聡哉 馬に乗る練習だけでなく、競馬法や馬学、栄養管理なども学びます。卒業するときに免許試験があります。自分の性格、レースの展開について

「騎手になろうと思ったきっかけは スポーツが得意で、小柄だったから。中3の夏、進路で悩んでいたとき、競馬に詳しい担任の先生と、母の知り合いに調教師の方がいて勧められたこともあって。聡哉 兄が栃木にある地方競馬の学校に入って半年後、訓練の成果を発表する場があり、全く馬に乗ったことのない兄が半年で、ものすごいスピードで走っていて、その迫力に圧倒されました。もう本能的に「やりたい」と思いました。幼いころから、父はお酒を飲むと「騎手になれ」って冗談っぽく言っていました。

競馬学校はどうでしたか 政聡 入学試験は約110人受けて15人合格だったと思います。厩舎での実習を含め2年間、本当に厳しく自由がないので逃げ出す人も。ケータイを持つこともできません。



Toshiya

ヤジもうれしい。馬券を買ってくれているということだから。次こそはと…

取材協力:岩手県競馬組合、千葉県競馬組合